

舟渡町会

舟渡町会は、昭和29年に蓮根町会から独立し、舟渡地域で唯一の町会として現在に至っています。昭和49年には板橋区町会連合会に加入し、区の舟渡出張所（現在の舟渡地域センター）も開設され、町会連合会、区役所との連携がより深まりました。舟渡町会には、防犯・防火・交通等多くの専門部が設置され、地域の関係団体とも協力しながら、より住みよい町づくりに向け様々な活動をしています。近年、舟渡地域には多くのマンションが立ち並ぶようになり人口も増加している反面、人と人との繋がりが希薄になっているように感じられます。一方、舟渡地区は、荒川と新河岸川に挟まれた地域で、大型台風等が到来した際は浸水被害が懸念されます。

こうした災害時には、ご近所同士が顔見知りになっていることで、情報を共有したり、助け合ったりすることもできます。また、高齢者の見守り活動や防犯上の面での効果も考えられるなど、地域の結びつきはとても大切です。舟渡町会は、これからも人の和を大切に「舟渡に住んでよかった。」と思える町を目指し、今後も町会員の方々と共に歩んでいきたいと考えています。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています

**例年、7月に行われる盆踊り大会です。
やぐらを中心に踊りの輪が広がり、模擬店もにぎわいます。**

